

# 刑 法 犯 の 概 況

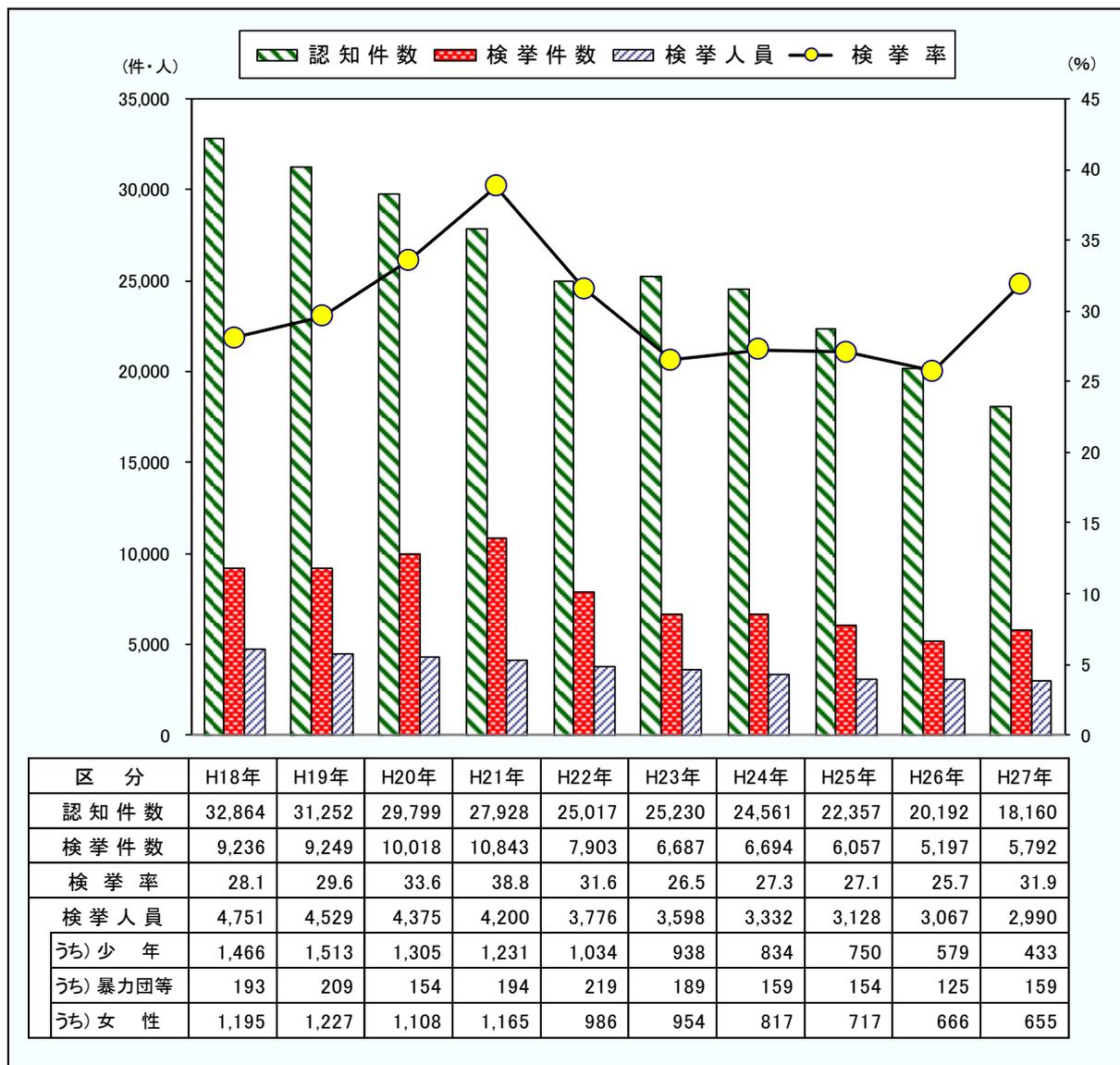
## 1 刑法犯

### ● 刑法犯は平成初期の水準まで減少

平成27年中の岐阜県下の刑法犯は、認知件数が18,160件、検挙件数が5,792件、検挙人員が2,990人、検挙率が31.9%でした。前年と比較すると、認知件数は2,032件（-10.1%）減少、検挙件数は595件（11.4%）増加、検挙人員は77人（-2.5%）減少、検挙率は6.2ポイント上昇となりました。

刑法犯の認知件数は2万件を切り、平成初期の水準まで減少しました。一方、検挙率は5年ぶりに30%台を回復しました。

図－1 刑法犯 認知・検挙状況 年次推移

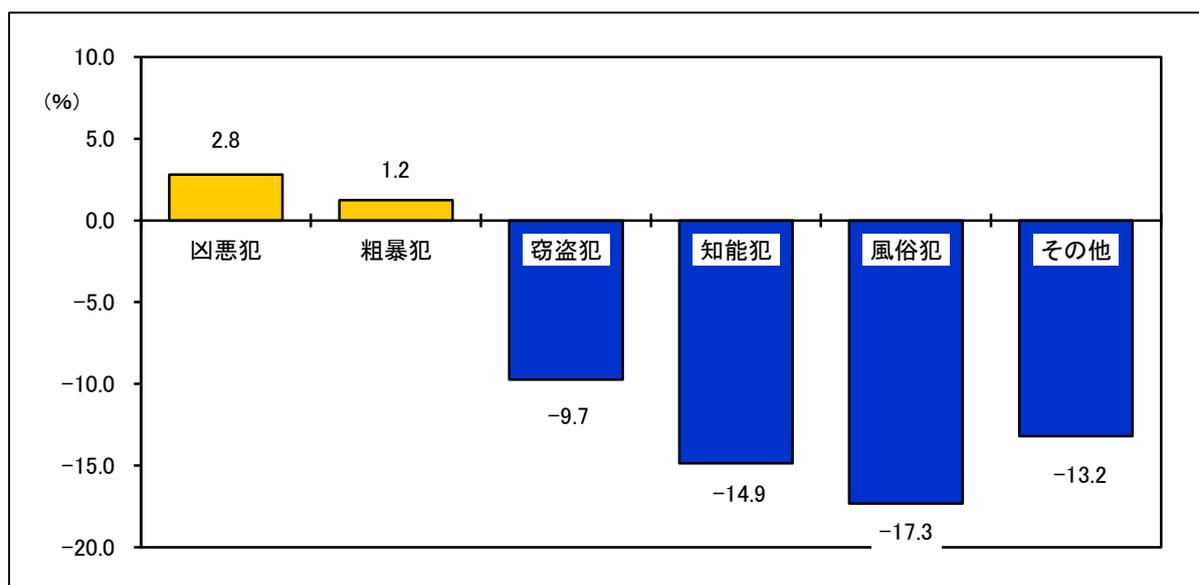


刑法犯の包括罪種別認知件数は、凶悪犯が73件、粗暴犯が980件、窃盗犯が13,138件、知能犯が768件、風俗犯が148件、その他の刑法犯が3,053件でした。前年と比較すると、凶悪犯と粗暴犯は微増となりましたが、窃盗犯、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯はそれぞれ減少しました。

表-1 刑法犯 包括罪種別 認知状況

包括罪種 区分	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の 刑法犯
平成27年	18,160	73	980	13,138	768	148	3,053
構成比	100.0	0.4	5.4	72.3	4.2	0.8	16.8
平成26年	20,192	71	968	14,555	902	179	3,517
構成比	100.0	0.4	4.8	72.1	4.5	0.9	17.4
増減 件数	-2,032	2	12	-1,417	-134	-31	-464
%	-10.1	2.8	1.2	-9.7	-14.9	-17.3	-13.2

図-2 刑法犯 包括罪種別 認知件数 前年対比



※ 包括罪種とは、刑法犯のうち被害法益、犯罪態様等の観点から類似性の強い罪種を包括して6種に分類したものをいいます。

- ・ 凶 悪 犯 ————— 殺人、強盗、放火、強姦
- ・ 粗 暴 犯 ————— 凶器準備集合、暴行、傷害、脅迫、恐喝
- ・ 窃 盗 犯 ————— 窃盗
- ・ 知 能 犯 ————— 詐欺、横領、偽造、汚職、あっせん利得、背任
- ・ 風 俗 犯 ————— 賭博、強制わいせつ、公然わいせつ、わいせつ物
- ・ その他の刑法犯 ——— 占有離脱物横領、公務執行妨害、住居侵入、逮捕監禁、略取誘拐等、器物損壊など上記に掲げるもの以外の罪名

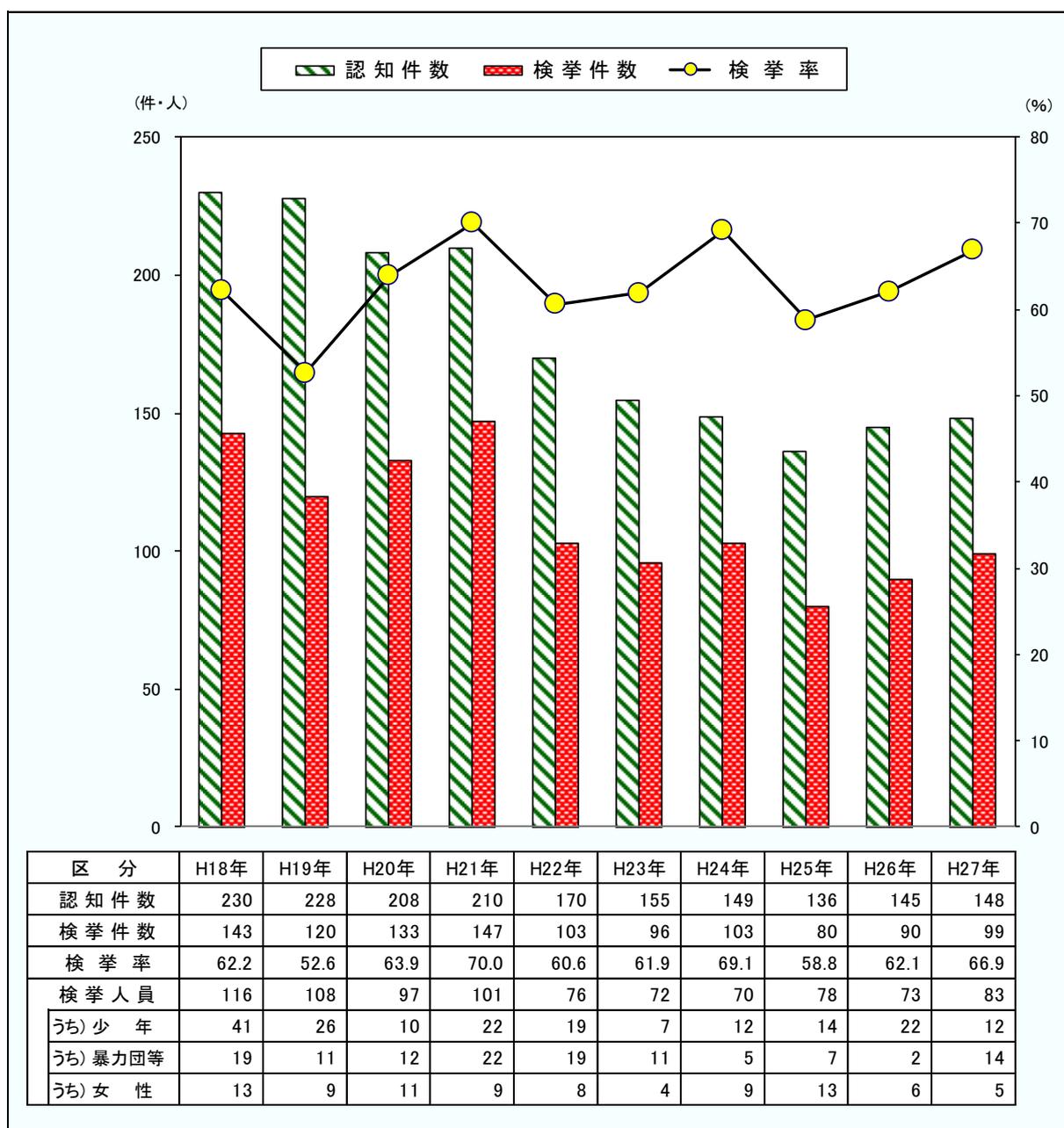
## 2 重要犯罪（殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐等、強制わいせつ）

### ● 重要犯罪は減少傾向から微増

平成27年中の岐阜県下の重要犯罪は、認知件数が148件、検挙件数が99件、検挙人員が83人、検挙率が66.9%でした。前年と比較すると、認知件数は3件（2.1%）増加、検挙件数は9件（10.0%）増加、検挙人員は10人（13.7%）増加、検挙率は4.8ポイント上昇となりました。

重要犯罪の認知件数は減少傾向でしたが、2年連続で微増となりました。

図-3 重要犯罪 認知・検挙状況 年次推移

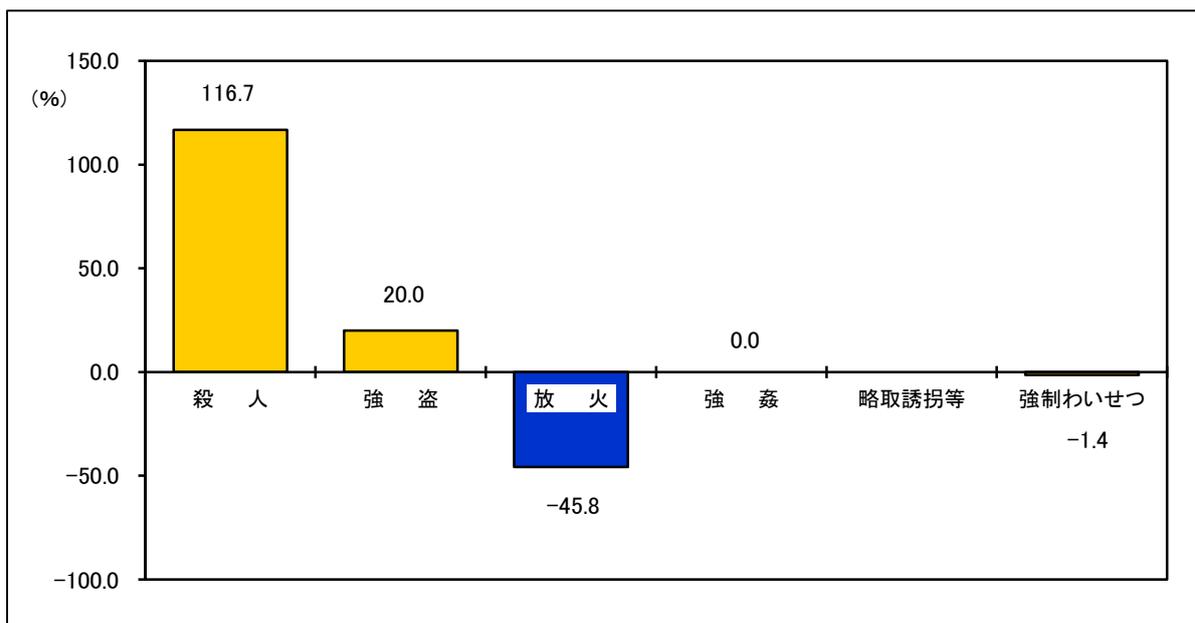


重要犯罪の罪種別認知件数は、殺人が13件、強盗が36件、放火が13件、強姦が11件、略取誘拐等が2件、強制わいせつが73件でした。前年と比較すると、殺人、強盗、略取誘拐等はそれぞれ増加しましたが、放火は減少しました。

表－２ 重要犯罪 罪種別 認知状況

罪種		総数	殺人	強盗	放火	強姦	略取誘拐等	強制わいせつ
区分								
	平成27年	148	13	36	13	11	2	73
	平成26年	145	6	30	24	11	0	74
増減	件数	3	7	6	-11	0	2	-1
	%	2.1	116.7	20.0	-45.8	0.0	-	-1.4

図－４ 重要犯罪 罪種別 認知件数 前年対比



※ 重要犯罪とは、刑法犯のうち殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐等、強制わいせつの各罪種をいいます。

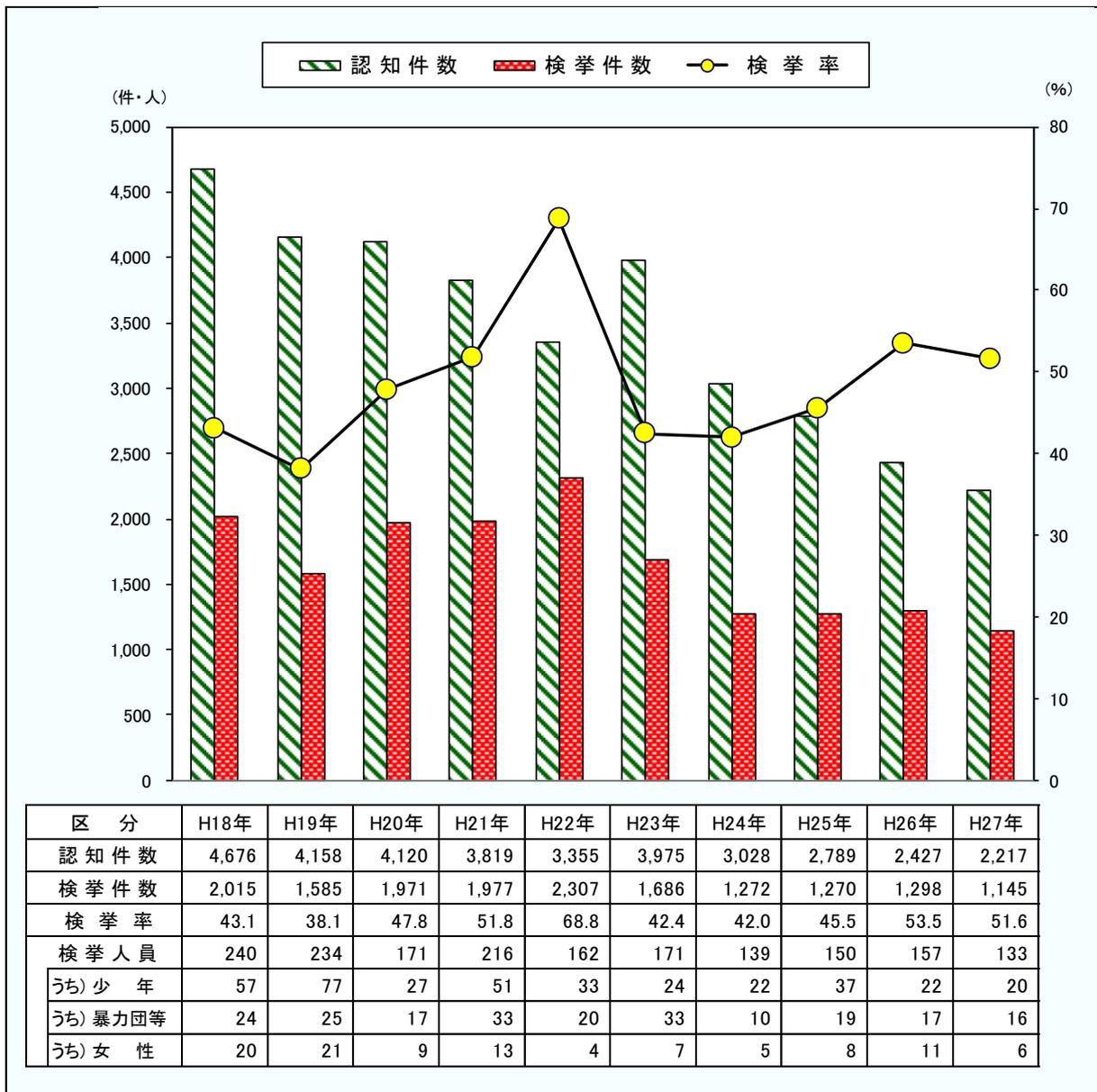
### 3 重要窃盗犯（侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり）

#### ● 重要窃盗犯は統計資料で残る最少を更新

平成27年中の岐阜県下の重要窃盗犯は、認知件数が2,217件、検挙件数が1,145件、検挙人員が133人で、検挙率が51.6%でした。前年と比較すると、認知件数は210件（-8.7%）減少、検挙件数は153件（-11.8%）減少、検挙人員は24人（-15.3%）減少、検挙率は1.9ポイント下降となりました。

重要窃盗犯の認知件数は4年連続で減少し、前年に続き、統計資料の残る昭和50年以降で最も少ない認知件数を更新しました。

図-5 重要窃盗犯 認知・検挙状況 年次推移

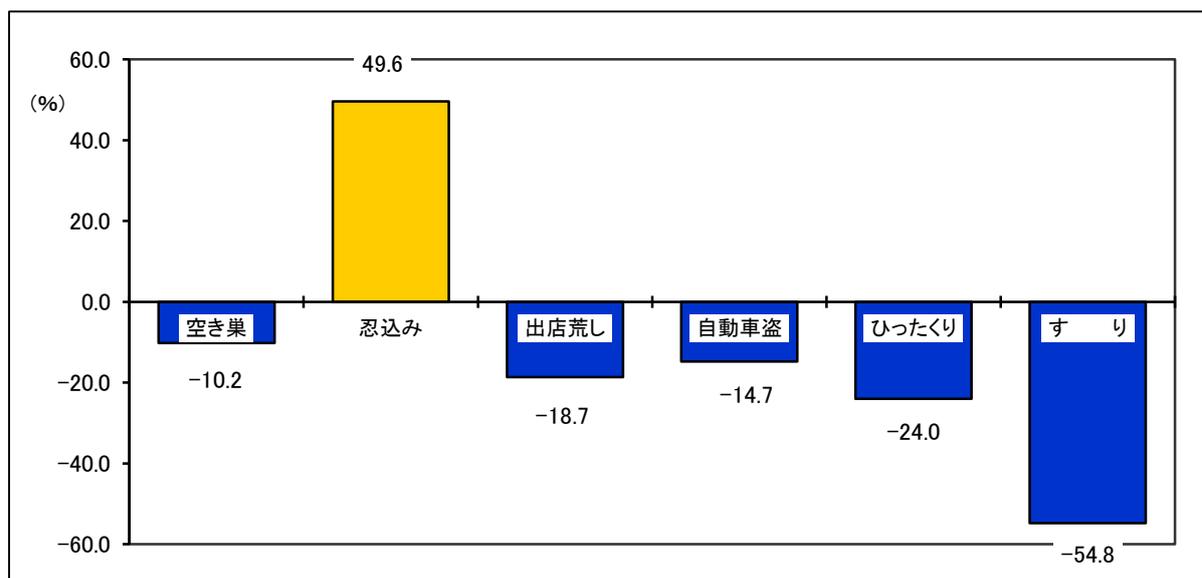


重要窃盗犯の手口別認知件数は、侵入盗が1,936件、自動車盗が243件、ひったくりが19件、すりが19件でした。前年と比較すると、侵入盗、自動車盗、ひったくり、すりがすべて減少しました。このうち、侵入盗は忍込みの増加が目立ちましたが、空き巣、出店荒し、事務所荒しなどはそれぞれ減少しました。

表－3 重要窃盗犯 手口別 認知状況

区分	手口 総数	侵入盗	うち)			自動車盗	ひったくり	すり
			空き巣	忍込み	出店荒し			
平成27年	2,217	1,936	822	356	205	243	19	19
平成26年	2,427	2,075	915	238	252	285	25	42
増減	件数	-210	-139	-93	118	-47	-6	-23
	%	-8.7	-6.7	-10.2	49.6	-18.7	-14.7	-24.0

図－6 重要窃盗犯 主要手口別 認知件数 前年対比



※ 重要窃盗犯とは、窃盗犯のうち侵入盗、自動車盗、ひったくり、すりの各手口をいいます。